

# How to polish with EZ system

## EZシステム工程表

対象塗膜：国産・外資系自己修復型耐擦りキズ性クリアー

### ○ペーパー目消し工程



EZ細目プラス

+



RUPES LHR15 mark II・III

+



BREEZE バフ  
BOA

#5000のペーパー目を置き換える工程です。BREEZEバフ BOAにEZコンパウンド細目プラスを大豆程の大きさに4カ所付けて磨きます。最大で#800のペーパー目に対応する細目プラスの研削力で確実にペーパー目を置き換えます。



### ○バフ目消し工程



EZ極細目プラス

+



RUPES LHR15 mark II・III

+



マイクロファイバーディスク  
M150 MFG

ペーパー目消し工程でついたバフ目を消す工程です。マイクロファイバーディスクMFGにEZ極細目プラスを大豆程の大きさに4カ所付けて磨きます。淡彩色でしたら殆どこの工程で仕上がりに向かいます。



### ○仕上げ工程（濃色作業時）



EZ超微粒子

+



RUPES LHR15 mark II・III

+



マイクロファイバーディスク  
M150 MFG

濃色での作業の場合、バフ目消し工程で残った細かいキズを消す工程です。マイクロファイバーディスクMFGにEZ超微粒子を大豆程の大きさに4カ所つけて磨きます。



### ○仕上げ工程（濃色最終仕上げ）



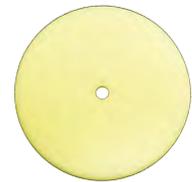
EZ超微粒子

+



ZERET RANDOM v2

+



BREEZE バフ  
ホワイト

塗膜のコンディションによっては仕上げ工程で微細なキズが残ったり、わずかに白っぽくぼやける場合に行う最終工程です。BREEZEバフ ホワイトにEZ超微粒子を小豆程の大きさに4カ所つけて磨きます。

「柔軟性があるのに硬くて削れない」という印象の自己修復型耐擦り傷性クリアーに向けたEZシステムを使用した磨き工程になります。研削性の高いダブル・ランダムアクションポリッシャーを組み合わせる事でシングルポリッシャー使用時よりも発熱を抑え、不要なバフ傷が入る事を防止して磨き上げます。また、ペーパー目消し工程では毛足の長いボアバフを使用する事で発熱とウールの深いバフ傷を予防し、ショートウールバフよりも含ませるコンパウンドのキャパシティが高いことを利用してコンパウンドを多めに使用する事で研削力を確保して磨く工程となります。ポリッシュ作業前の最終ペーパー目は#5000を強く推奨します。